「塩害劣化を受けたコンクリート構造物の耐荷力評価に関する講習会」開催のご案内

コンクリート構造物が，半永久構造物ではなく，維持管理が必要であることが言われてから久しくなりました。特に，塩害劣化を受けるコンクリート構造物は，局所的な鉄筋腐食である孔食が原因で，部材の耐荷力が大きく低下することが知られています。さらに，鉄筋腐食による断面減少により，耐荷力の低下だけではなく部材の変形能力も大きく低下することが今までの研究でわかっています。

一方，日本は地震国であり，設計断面は地震時荷重により決定されていることが多く，常時荷重に対して余裕をもって設計されています。そのため，鉄筋コンクリート部材が，常時荷重で倒壊するような問題は発生しにくいのが現状です。

日本コンクリート工学会四国支部に平成25年度から2年間設置された「塩害劣化を受けたコンクリート構造物の耐荷力評価委員会（委員長：松島　学・香川大学工学部安全システム建設工学科)」では，塩害により鉄筋腐食が生じた試験体による実験を行い，今まで行われてきた数多くの試験体の実験結果をも含めて，鉄筋腐食量と耐荷性能との関係について再評価を行いました。地震時での性能評価は，Housner らが提唱してきたエネルギー一定則に基づいた指標である「等価耐力」を用いて，鉄筋腐食が生じている部材の鉄筋腐食量と等価耐力との関係を求めました。この指標が，鉄筋腐食により低下することだけではなく，破壊モードがコンクリートの圧壊から鉄筋破断に変化することをも示唆し，あまり大きな鉄筋腐食は部材の脆性的な破壊をもたらすことを明らかにしました。

本研究は，今までに数多く検討が行われてきた常時荷重に対する鉄筋腐食による耐荷力低下の問題だけではなく，地震時の耐荷力性能を評価することを試みたものです。地震と塩害による鉄筋腐食の両方を考慮した研究は皆無に等しく，本分野の研究の大きな前進になることを期待しております。

このたび，標記講習会を開催して，委員会の活動成果をご紹介するとともに，本テーマについて関心のある方々との情報交換・議論の場を設けることといたしました。ふるってご参加くださいますよう，よろしくお願い申し上げます。

記

1. 主　　　催：公益社団法人 日本コンクリート工学会 四国支部
2. 共　　　催：四国コンクリート技術懇話会
3. 開 催 日 時：平成 27 年 6 月 23 日（火）　14:00～16:00
4. 開 催 場 所：香川大学工学部　6 号館　6902 教室　　（香川県高松市林町 2217-20）
交通ｱｸｾｽ http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/hayashi/access/
5. プログラム（予定）：

14:00～14:10	開会挨拶・趣旨説明	松島　学（香川大学）
14:10～14:50	塩害劣化を受けるコンクリート部材の載荷実験	松田耕作（四国総合研究所）
14:50～15:30	地震力を受けるコンクリート部材の耐荷力の評価	山下泰輔（香川大学）
15:30～15:50	質疑応答	松島　学（香川大学）
15:50～16:00	閉会挨拶	松島　学（香川大学）

6. 参　加　費：消費税込み，配布資料を含む。
会員：2,000円，非会員：3,000円，学生：1,000円
（当日，受付にて徴収させていただきます。）
会員とは土木学会，日本建築学会及び日本コンクリート工学会の会員を指します。
7. 申 込 方 法：下記申込先までＦＡＸまたはｅメールにてお申込みください。
受講券は発行しませんので，ご了承ください。
8. 申 込 締 切：定員（40 名）になり次第，締め切らせていただきますので，お早めにお申し込みください。
9. 申　込　先：㈱四国総合研究所　土木技術部（担当：松田）
TEL：050-8802-4785／FAX：087-887-0004
E-mail：k-matsuda@ssken.co.jp

以上

参加申込書（FAX：087-887-0004）

氏名（代表者）	勤務先	連絡先
	所属： 住所：	TEL： FAX： E-mail：

氏名（参加者１）	氏名（参加者２）	氏名（参加者３）	氏名（参加者４）

備考欄